

1. 科目名 (単位数)	教養基礎演習ⅡA (2単位)	3. 科目番号	GELA1204 GELA1304
2. 授業担当教員	チームティーチング		
4. 授業形態	講義、演習、ディスカッション、発表など	5. 開講学期	通年
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	本講義では、「教養」を身に付けるための一環として、知能分野(文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈)の問題を解きながら、その解法や留意点などについて理解を深め、応用力を高めていく。また、「教養」とは何かを再認識して、それを身に付けることの意義についても考察する。さらに、問題発見・解決能力や協調性を高めるためのディスカッション、表現力を高めるための発表やレポート課題なども取り入れ、幅広い意味での教養を身に付ける。		
8. 学習目標	本講義では、以下の目標を達成することが期待されている。 ①希望する就職先や資格などを明確にし、具体的な目標を設定することができる。 ②目標を達成するために、自主的に勉強して必要な知識を身に付けられる。 ③職場で必要とされる思考力、文章作成能力、問題解決能力、コミュニケーション能力を身に付けられる。 ④人間として必要なマナー、常識、モラルを身に付けられる。 ⑤教養を身に付けることについて、その意義を十分に理解し、自ら実践することができる。		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	レポート課題：春期においては、教科書Aを10ページずつ読み進め、「授業で読んだことについて、600字～800字程度で論述せよ。」というテーマでレポートを作成し、提出する。 期末試験日に「教養を身に付けることの意義について」というテーマで、1000字程度のレポートを作成し、提出する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 A『最新でできなかった子(生徒)をできる子(学生)にするのが教育 私体験的教育論』ミネルヴァ書房 B『無敵の地方公務員、初級、過去問クリア問題集』高橋書店 【参考書】国語辞典、英和辞典、高校時代に使用した教科書や参考書		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 ①希望する就職先や資格などを明確にし、具体的な目標を設定できたか ②目標を達成するために、自主的に勉強して必要な知識を身に付けられたか ③職場で必要とされる思考力、文章作成能力、問題発見解決能力、コミュニケーション能力を身に付けられたか ④人間として必要なマナー、常識、モラルを身に付けられたか ⑤教養を身に付けることについて、その意義を十分に理解し、自ら実践することができたか ○評定の方法 ・学生の参加意欲(態度、取り組み、発言、行動、気配りなど)20% ・理解度(ディスカッション記録、レポート、発表内容、資料等の作成など)20% ・最終試験(総合評価が可能なレポート試験等)60% ・3/4以上の出席が確認できない場合には単位を認めないこととする。 ・特別な事情で欠席、遅刻、早退した場合には考慮し、課題を与えるなどして対応する。		
12. 受講生へのメッセージ	本授業を通じて、「基本的な勉強法」や「教養を身に付けることの意義」を学んで頂き、自分の将来の目標に向かって、自らが積極的に勉強できるようになることを願っている。		
13. オフィスアワー	オリエンテーションで連絡		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション(授業の進め方、マナーなど) 就職・資格試験対策(勉強法、最近の傾向など) 文章理解(現代文)	事前学習	自分の将来像について考えてくる。 教科書Bの左記の内容を予習してくる。
		事後学習	就きたい職業や必要な資格について調べてくる。 学んだことを復習して理解する。
第2回	文章理解(現代文、古文、漢文)	事前学習	教科書Bの左記の内容を予習してくる。
		事後学習	学んだことを復習して理解する。
第3回	小論文作成演習① 序章 私がハーバード、フォーゲムでの研究・留学で得たもの 熟読とレポート作成	事前学習	教科書Aの該当箇所を読み込んでくる。
		事後学習	レポート課題を作成し、提出する。
第4回	小論文作成演習② I章 日本の教育現場には意識の改革が必要 熟読とレポート作成	事前学習	教科書Aの該当箇所を読み込んでくる。
		事後学習	レポート課題を作成し、提出する。
第5回	小論文作成演習③ I章 日本の教育現場には意識の改革が必要 熟読とレポート作成	事前学習	教科書Aの該当箇所を読み込んでくる。
		事後学習	レポート課題を作成し、提出する。
第6回	小論文作成演習④ I章 日本の教育現場には意識の改革が必要 熟読とレポート作成	事前学習	教科書Aの該当箇所を読み込んでくる。
		事後学習	レポート課題を作成し、提出する。
第7回	小論文作成演習⑤ II章 できなかった子(生徒)をできる子(学生)にする 熟読とレポート作成	事前学習	教科書Aの該当箇所を読み込んでくる。
		事後学習	レポート課題を作成し、提出する。
第8回	小論文作成演習⑥ II章 できなかった子(生徒)をできる子(学生)にする 熟読とレポート作成	事前学習	教科書Aの該当箇所を読み込んでくる。
		事後学習	レポート課題を作成し、提出する。
第9回	小論文作成演習⑦ II章 できなかった子(生徒)をできる子(学生)にする 熟読とレポート作成	事前学習	教科書Aの該当箇所を読み込んでくる。
		事後学習	レポート課題を作成し、提出する。
第10回	小論文作成演習⑧ II章 できなかった子(生徒)をできる子(学生)にする 熟読とレポート作成	事前学習	教科書Aの該当箇所を読み込んでくる。
		事後学習	レポート課題を作成し、提出する。

第11回	小論文作成演習⑨ Ⅲ章 大学教育は充実し変わらなければならない —学生 の能力を伸ばす教育システム 熟読とレポート作成	事前学習	教科書Aの該当箇所を読み込んでくる。
		事後学習	レポート課題を作成し、提出する。
第12回	小論文作成演習⑩ Ⅲ章 大学教育は充実し変わらなければならない —学生 の能力を伸ばす教育システム 熟読とレポート作成	事前学習	教科書Aの該当箇所を読み込んでくる。
		事後学習	レポート課題を作成し、提出する。
第13回	小論文作成演習⑪ Ⅲ章 大学教育は充実し変わらなければならない —学生 の能力を伸ばす教育システム 熟読とレポート作成	事前学習	教科書Aの該当箇所を読み込んでくる。
		事後学習	レポート課題を作成し、提出する。
第14回	小論文作成演習⑫ Ⅲ章 大学教育は充実し変わらなければならない —学生 の能力を伸ばす教育システム 熟読とレポート作成	事前学習	教科書Aの該当箇所を読み込んでくる。
		事後学習	レポート課題を作成し、提出する。
第15回	小論文作成演習⑬ Ⅲ章 大学教育は充実し変わらなければならない —学生 の能力を伸ばす教育システム 熟読とレポート作成	事前学習	教科書Bの該当箇所を読み込んでくる。
		事後学習	学んだことを復習して理解する。
第16回	文章理解(英文)	事前学習	教科書Bの左記の内容を予習してくる。
		事後学習	学んだことを復習して理解する。
第17回	文章理解(国語)	事前学習	教科書Bの左記の試験に備えて勉強してくる。
		事後学習	学んだことを復習して理解する。
第18回	判断推理(集合・論理)	事前学習	教科書Bの左記の内容を予習してくる。
		事後学習	学んだことを復習して理解する。
第19回	判断推理(対応関係、出張、海釣り、対応関係)	事前学習	教科書Bの左記の内容を予習してくる。
		事後学習	学んだことを復習して理解する。
第20回	判断推理(位置、順序、発言)	事前学習	教科書Bの左記の内容を予習してくる。
		事後学習	学んだことを復習して理解する。
第21回	判断推理(試合、油分け算、一筆書き)	事前学習	教科書Bの左記の内容を予習してくる。
		事後学習	学んだことを復習して理解する。
第22回	判断推理(図形、軌跡、サイコロ)	事前学習	教科書Bの左記の試験に備えて勉強してくる。
		事後学習	学んだことを復習して理解する。
第23回	判断推理(裁ち合わせ、回転体、立体図形)	事前学習	教科書Bの左記の内容を予習してくる。
		事後学習	学んだことを復習して理解する。
第24回	数的推理(整数、約数、比)	事前学習	教科書Bの左記の内容を予習してくる。
		事後学習	学んだことを復習して理解する。
第25回	数的推理(方程式、年齢算、濃度)	事前学習	教科書Bの左記の内容を予習してくる。
		事後学習	学んだことを復習して理解する。
第26回	数的推理(速さ、旅人算、通過算)	事前学習	教科書Bの左記の内容を予習してくる。
		事後学習	学んだことを復習して理解する。
第27回	数的推理(流水算、仕事算、給排水算)	事前学習	教科書Bの左記の試験に備えて勉強してくる。
		事後学習	学んだことを復習して理解する。
第28回	数的推理(最短経路、場合の数、組合せ)	事前学習	教科書Bの左記の内容を予習してくる。
		事後学習	学んだことを復習して理解する。
第29回	数的推理(確率、図形)	事前学習	教科書Bの左記の試験に備えて勉強してくる。
		事後学習	学んだことを復習して理解する。
第30回	教養を身に付けることの意義について、ディスカッションと発表(期末試験対策)	事前学習	教養を身に付ける意義について考えてくる
		事後学習	期末試験でレポートを書けるように準備する。
期末試験			